

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 日医工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4541 URL <https://www.nichiiko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 石田 修二 TEL 076-432-2121  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	42,943	△5.1	△3,945	—	△4,124	—	△3,611	—	△3,881	—	△3,777	—
2021年3月期第1四半期	45,265	△2.7	726	△61.2	491	△71.6	494	△82.7	304	△83.2	290	△84.0

	四半期包括利益合計額	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
		円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△3,691	—	△58.90
2021年3月期第1四半期	193	—	4.54

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益(非経常項目)を除いて算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	354,607	108,021	106,859	30.1	1,665.57
2021年3月期	363,572	112,435	111,167	30.6	1,733.58

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	10.00	25.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	94,000	4.9	△5,000	—	△5,200	—	△5,300	—	△82.61
通期	195,000	3.6	700	△28.4	500	365.4	200	—	3.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、 除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	65,162,652株	2021年3月期	65,162,652株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,004,905株	2021年3月期	1,036,650株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	64,141,888株	2021年3月期1Q	63,945,629株

(注)期末自己株式数には、従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年8月10日(火)に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たない中、依然として社会活動や個人消費の動きは鈍く、先行き不透明な状況が続いております。

後発医薬品業界におきましては、2021年4月の薬価改定により一層の収益力向上が求められるとともに、品質・安定供給面の課題に対する取り組みも求められる状況となっております。

このような状況下当社グループでは、昨年7月に策定した新品質方針「安心と信頼への約束」に則り、安心して信頼できる医薬品を提供し続ける体制を早急に構築すること、および安定供給のため医療上必要性の高い安定確保医薬品を軸に5つのブランドのリブランディング（重複品の整理統合）を行うこと、そして日医工岐阜工場株式会社（以下、岐阜工場）での受託ビジネスの推進、付加価値のある製品開発の推進、に努めております。

## A. セグメント別の業績

(単位:百万円)	日医工グループ			Sagent グループ		
	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減
売上収益	36,399	33,268	▲3,131	8,914	9,690	+776
コア営業利益	1,237	▲3,521	▲4,759	▲511	▲423	+87

(注) 1. セグメント区分は、「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されております。

2. 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しており、セグメント利益にも「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

## ①日医工グループ

日医工グループにおいては、今年3月に行政処分を受けた富山第一工場の製造品品質リスク評価を終え、順次出荷再開に全力で取り組んでおります。加えて、今年2月に子会社とした岐阜工場でのシナジー効果発現を含め、グループ全体での安定供給体制構築を見据えた生産体制の最適化に向けた取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間の日医工グループにおける業績は、岐阜工場品の売上への寄与（約90億円）があったものの、薬価改定による薬価引き下げや、製造委託先（小林化工株式会社）での生産・出荷停止に起因するエルメッド製品の売上減少、富山第一工場においてFMEA等の独自の厳しい品質チェック等を採用したことにより第1四半期の富山第一工場での出荷がほとんどなかったことなどから、売上収益は332億68百万円（前年同期比31億31百万円減）、セグメント損失は35億21百万円（前年同期比47億59百万円減）と減収減益となりました。

今後第2四半期以降、富山第一工場におきましては順次生産の回復を図り、出荷を軌道に乗せてまいります。

## ②Sagent グループ

Sagent グループにおいては、コスト競争力・安定供給能力の強化を目指し、SterRx での生産ライン増設など Sagent・ローリー工場、Omega・モンリオール工場、SterRx における内製化・自社製造能力の拡充に向けた体制強化を進めております。また、バイオシミラー、オーファンドラッグの米国市場への早期上市、Sagent 開発品の日本・東南アジア市場への導出に向けた取り組みを進めております。

当第1四半期連結累計期間のSagent グループにおける業績は、米国における新型コロナウイルス感染者数減少による新型コロナウイルス関連製品の売上減があったものの、カナダ市場での売上増加や販管費の減少などにより、前年同期よりも改善し、売上収益は96億90百万円（前年同期比7億76百万円増）、セグメント損失は4億23百万円（前年同期比87百万円増）となりました。

## B. グループ全体の業績

(単位:百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減
売上収益	45,265	42,943	▲2,321
コア営業利益	726	▲3,945	▲4,672
営業利益	491	▲4,124	▲4,616
税引前四半期利益	494	▲3,611	▲4,106
親会社の所有者に帰属する四半期利益	290	▲3,777	▲4,068
希薄化後1株当たり四半期利益	4.54	▲58.90	▲63.44

(注) 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しております。

売上収益は、Sagent グループは増収も日医工グループの減収があり、前年同期比23億21百万円の減収となりました。

コア営業利益、営業利益は、日医工グループの減益があり前年同期比、コア営業利益は46億72百万円、営業利益は46億16百万円の減益となりました。

税引前四半期利益は前年同期比41億6百万円の減益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比40億68百万円の減益となりました。

## (新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症に関して、当社グループでは在宅勤務、時差出勤、各部署の執務場所分散等を実施し、全社員が感染拡大防止に努めております。

業績への影響に関しては、患者様の受診抑制、手術延期、営業活動制限による売上への影響や、米国において調達先からの一部製品についての資材供給が滞るなどの影響がありましたが、新型コロナウイルス関連製品の売上が伸長するなどのプラス面もあり、これまでのところ大きな影響は出ておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ89億64百万円減少し、3,546億7百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
現金及び現金同等物	△15,439	仕入債務の支払、売上債権自己信託に係る預り金の支払など
売上債権及びその他の債権	△3,452	2021年4月の薬価改定及び一部品目の出荷遅延による売上減少など
棚卸資産	+7,575	富山第一工場生産再開を見据えた原材料調達及び仕掛品確保による棚卸資産増加など
無形資産	+4,377	製造販売権の取得など

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ45億50百万円減少し、2,465億86百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
仕入債務及びその他の債務	△4,329	仕入価格の値下げ、季節変動品の仕入代金の決済など

当第1四半期連結会計期間末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べ44億14百万円減少し、1,080億21百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
利益剰余金	△4,549	四半期損失の計上など

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ154億39百万円減少し、137億3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況の詳細は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期連結累計期間において144億97百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
税引前四半期損失の計上	△3,611
減価償却費及び償却費の計上	3,094
棚卸資産の増加	△7,273
売上債権及びその他の債権の減少	3,431
仕入債務及びその他の債務の減少	△7,120

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期連結累計期間において10億24百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

も内容	金額 (百万円)
有形固定資産の取得による支出	△1,045
無形資産の取得による支出	△2,478
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	2,500

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期連結累計期間において2億87百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
借入金の純増	1,456
配当金の支払	△594

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、未公表としておりました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想について公表いたしました。また、2021年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を修正するとともに、未公表としておりました営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益について公表いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2022年3月期 第2四半期連結業績予想の公表および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2022年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の公表（2021年4月1日～2021年9月30日）

	売上収益 (百万円)	コア営業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	94,000	△5,000	△5,200	△5,300	△82.61
(参考) 前期第2四半 期実績 (2021年3月期 第2四半期)	89,631	1,360	523	146	2.28

## 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上収益 (百万円)	コア営業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	195,000	2,500	—	—	—
今回修正予想 (B)	195,000	700	500	200	3.12
増減額 (B-A)	—	△1,800	—	—	
増減率 (%)	—	△72.0	—	—	
(参考) 前期通期実績 (2021年3月期)	188,218	977	107	△4,179	△65.28

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	29,142	13,703
売上債権及びその他の債権	42,882	39,430
棚卸資産	96,110	103,685
未収法人所得税	55	161
その他の金融資産	3,715	3,715
その他の流動資産	3,195	4,155
小計	175,102	164,851
売却目的で保有する資産	-	855
流動資産合計	175,102	165,707
非流動資産		
有形固定資産	68,943	66,834
のれん	45,661	45,708
無形資産	56,957	61,334
持分法で会計処理されている投資	2,202	74
その他の金融資産	11,635	11,791
繰延税金資産	12	17
その他の非流動資産	3,058	3,139
非流動資産合計	188,469	188,900
資産合計	363,572	354,607



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	65,359	61,030
借入金	63,113	66,017
その他の金融負債	1,615	1,461
未払法人所得税	937	1,247
返金負債	2,712	2,107
契約負債	127	117
その他の流動負債	9,707	8,583
流動負債合計	143,574	140,564
非流動負債		
借入金	86,021	84,561
その他の金融負債	4,182	4,040
退職給付に係る負債	960	939
引当金	83	83
返金負債	98	85
契約負債	631	611
繰延税金負債	14,711	14,904
その他の非流動負債	874	797
非流動負債合計	107,562	106,022
負債合計	251,136	246,586
資本		
資本金	23,360	23,360
資本剰余金	21,896	21,896
その他の資本性金融商品	9,918	9,918
自己株式	△2,267	△2,216
利益剰余金	50,822	46,272
その他の資本の構成要素	7,437	7,627
親会社の所有者に帰属する持分合計	111,167	106,859
非支配持分	1,268	1,162
資本合計	112,435	108,021
負債及び資本合計	363,572	354,607

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	45,265	42,943
売上原価	37,178	39,420
売上総利益	8,087	3,523
販売費及び一般管理費	6,712	6,879
研究開発費	776	790
その他の営業収益	76	95
その他の営業費用	183	73
営業利益 (△は損失)	491	△4,124
金融収益	140	545
金融費用	206	232
持分法による投資損益	69	201
税引前四半期利益 (△は損失)	494	△3,611
法人所得税費用	190	270
四半期利益 (△は損失)	304	△3,881
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	290	△3,777
非支配持分	14	△103
四半期利益 (△は損失)	304	△3,881
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	4.54	△58.90
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	4.54	△58.90

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	304	△3,881
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	276	73
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	-
純損益に振り替えられることのない項目合計	275	73
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△387	116
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△387	116
その他の包括利益(税引後)	△111	189
四半期包括利益	193	△3,691
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	192	△3,586
非支配持分	0	△105
四半期包括利益	193	△3,691

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2020年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,562	57,365	4,339	1,235
四半期利益(△は損失)					290		
その他の包括利益						△373	275
四半期包括利益合計	-	-	-	-	290	△373	275
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△109		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△3		24			
配当(注)					△959		
利益剰余金から資本剰余金への振替		3			△3		
所有者との取引額合計	-	-	-	24	△1,072	-	-
2020年6月30日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,538	56,583	3,965	1,510

	親会社の所有者に帰属する持分				合計
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	
	その他	合計			
2020年4月1日時点の残高	274	5,848	115,826	1,343	117,170
四半期利益(△は損失)			290	14	304
その他の包括利益		△97	△97	△13	△111
四半期包括利益合計	-	△97	192	0	193
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配			△109		△109
自己株式の取得			△0		△0
自己株式の処分			21		21
配当(注)			△959		△959
利益剰余金から資本剰余金への振替			-		-
所有者との取引額合計	-	-	△1,047	-	△1,047
2020年6月30日時点の残高	274	5,750	114,971	1,344	116,315

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
						在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2021年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,267	50,822	6,526	669
四半期利益(△は損失)					△3,777		
その他の包括利益						118	73
四半期包括利益合計	-	-	-	-	△3,777	118	73
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△109		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△21		50			
自己株式処分差損の振替		21			△21		
配当(注)					△641		
その他の資本の構成要素からの振替					1		△1
所有者との取引額合計	-	-	-	50	△771	-	△1
2021年6月30日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,216	46,272	6,645	741

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素		合計	非支配持分	合計
	その他	合計			
2021年4月1日時点の残高	240	7,437	111,167	1,268	112,435
四半期利益(△は損失)			△3,777	△103	△3,881
その他の包括利益		191	191	△2	189
四半期包括利益合計	-	191	△3,586	△105	△3,691
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配			△109		△109
自己株式の取得			△0		△0
自己株式の処分			28		28
自己株式処分差損の振替			-		-
配当(注)			△641		△641
その他の資本の構成要素からの振替		△1	-		-
所有者との取引額合計	-	△1	△722	-	△722
2021年6月30日時点の残高	240	7,627	106,859	1,162	108,021

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	494	△3,611
減価償却費及び償却費	3,042	3,094
受取利息及び受取配当金	△73	△92
支払利息	142	155
持分法による投資損益 (△は益)	△69	△201
関連会社株式売却損益 (△は益)	-	△363
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	9,809	3,431
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,614	△7,273
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△4,269	△7,120
返金負債の増減額 (△は減少)	△614	△616
預り金の増減額 (△は減少)	△195	△992
その他	991	△797
小計	4,643	△14,387
配当金の受取額	57	73
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△140	△152
法人所得税の支払額	△153	△89
法人所得税の還付額	138	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,545	△14,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,880	△1,045
無形資産の取得による支出	△3,032	△2,478
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	-	2,500
その他	29	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,883	△1,024
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	58	2,967
長期借入による収入	-	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,292	△2,511
リース負債の返済による支出	△394	△492
配当金の支払額	△897	△594
その他の資本性金融商品の所有者に対する分配額	△109	△109
その他	20	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,614	287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△349	△204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,301	△15,439
現金及び現金同等物の期首残高	42,944	29,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,642	13,703

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は医薬品事業を構成する「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つの報告セグメントにしており、また、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成されています。

「日医工 グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されています。

報告セグメントの売上収益及びセグメント利益は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計		
売上収益					
外部収益	36,399	8,914	45,314	-	45,314
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	36,399	8,914	45,314	-	45,314
セグメント利益（△は損失） （コア営業利益）（注）	1,237	△511	726	-	726

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計		
売上収益					
外部収益	33,268	9,690	42,959	-	42,959
セグメント間収益	-	18	18	△18	-
合計	33,268	9,709	42,977	△18	42,959
セグメント利益（△は損失） （コア営業利益）（注）	△3,521	△423	△3,945	-	△3,945

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

報告セグメントの合計額と要約四半期連結財務諸表計上額の差異の調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益計	45,314	42,959
自主回収返品引当	49	16
要約四半期連結財務諸表上の売上収益	45,265	42,943

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
セグメント利益 (△は損失)	726	△3,945
統合関連費用	-	24
自主回収費用	234	154
営業利益 (△は損失)	491	△4,124
金融収益	140	545
金融費用	206	232
持分法による投資損益	69	201
税引前四半期利益 (△は損失)	494	△3,611



## (2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの売上収益は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
商品及び製品の販売			
救急救命用薬	-	2,958	2,958
循環器官用薬	7,547	-	7,547
血液及び体液用薬	6,884	-	6,884
抗生物質	1,893	2,277	4,171
消化器官用薬	3,808	-	3,808
神経系用薬	4,415	-	4,415
外皮用薬	1,742	-	1,742
アレルギー用薬	3,144	-	3,144
その他	6,963	3,678	10,641
合計	36,399	8,914	45,314

(注) コア営業利益と同様に、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
商品及び製品の販売			
救急救命用薬	-	5,556	5,556
循環器官用薬	5,092	-	5,092
血液及び体液用薬	5,078	-	5,078
抗生物質	2,004	2,501	4,505
消化器官用薬	3,824	-	3,824
神経系用薬	3,610	-	3,610
外皮用薬	2,595	-	2,595
アレルギー用薬	2,497	-	2,497
その他	8,566	1,633	10,199
合計	33,268	9,690	42,959

(注) コア営業利益と同様に、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工グループ	Sagentグループ	合計
商品及び製品の販売	36,370	8,914	45,285
製品の販売等に関するライセンス契約	29	-	29
合計	36,399	8,914	45,314

(注) コア営業利益と同様に、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工グループ	Sagentグループ	合計
商品及び製品の販売	33,239	9,690	42,929
製品の販売等に関するライセンス契約	29	-	29
合計	33,268	9,690	42,959

(注) コア営業利益と同様に、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

## (3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工グループ	Sagentグループ	合計
日本	36,367	-	36,367
米国	-	7,907	7,907
その他	32	1,007	1,039
合計	36,399	8,914	45,314

(注) 1. 売上収益は、販売仕向先の所在地によっています。

2. コア営業利益と同様に、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工グループ	Sagentグループ	合計
日本	33,220	-	33,220
米国	-	7,749	7,749
その他	48	1,940	1,989
合計	33,268	9,690	42,959

(注) 1. 売上収益は、販売仕向先の所在地によっています。

2. コア営業利益と同様に、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。